

目次

■ 論文	高井 絹子	ウィーン工房と「現代的なもの」 —— アドルフ・ロースの装飾批判を手掛かりに ——	2
	呉 偉華	都市大坂の御用宿と町方 —— 大番頭・大番衆を中心として ——	13
	庄 涵淇	宋代的园林与交游 —— 以湖州园林为线索 —— (邦題：宋代の園林と交遊 —— 湖州園林を手がかりとして ——)	26
■ 研究ノート	靳 巍	「満蒙」における日本の牧羊調査 —— 軍部と満鉄を中心に ——	40
	中 嶋 晋 平	アジア・太平洋戦争の開戦と広告業界 —— 日本宣伝文化協会の活動を事例に ——	55
	中 西 広 大	大阪市における学力テスト結果公開と人口流入 —— 小・中学校における学校選択制の検討から ——	66
	谷 口 正 樹	戦国期杵築大社門前町の展開 —— 尼子氏発布捷の検討を通して ——	80
■ 研究展望	辻 昌子	19世紀末フランスにおけるコレクター像の研究と課題	91
■ 特集	国際共同研究「周縁的社会集団と近代」から		
	塚田 孝, 佐賀 朝	アララン・ミハイル論文の掲載にあたって	96
	アララン・ミハイル (上野雅由樹訳)	狡兎良狗の帝国 —— オスマン期カイロの街路における暴力と愛情 ——	98
■ 翻訳	包 偉 民	(平田茂樹監訳・樋口能成翻訳) 意象と現実 —— 宋代都市等級試論 ——	115
■ 書評	伊藤 瞳	メヴリュト・ジャムギョズ著『パンと小麦, そして都市 —— 19世紀 オスマン帝国のイスタンブルにおける食糧供給問題』Mevlüt ÇAMGÖZ, <i>Ekmek, Buğday ve Şehir: 19. Yüzyıl Osmanlı İstanbul'unda İaşe Meselesi</i> (İstanbul: Kitabevi Yayınlar, 2017).	123
	全 ウンフィ	山根実紀論文編集委員会編, 2017『オモニがうたう竹田の子守唄 —— 在日朝鮮人女性の学びとポスト植民地問題』インパクト出版会	125
	加藤 はるか	ジェームズ・リーバックス著 (濱野大道訳) 『羊飼いの暮らし —— イギリス湖水地方の四季』	127
	ケイン樹里安	レフ・マノヴィッチ (著), 久保田晃弘, きりとりめでる (編訳), 甲斐義明, 芝尾幸一郎, 筒井淳也, 永田康祐, ばるぼら, 前川修, 増田展大 (分担執筆)『インスタグラムと現代視覚文化論 —— レフ・マノヴィッチ のカルチュラル・アナリティクスをめぐって』	129
■ 海外レポート	王 世 禎	現代中国の結婚事情	131
■ ニュース 投稿規定 編集後記 執筆者一覧			136
			144
			145
			146

表紙の写真は、トルコ共和国・イスタンブルのエミニョヌ波止場付近で撮影したものである。かつては、都市の生活に必要な物資の荷上場を中心に、大型の市場や小売店、商人の宿泊施設などが立ち並ぶ商業地区として栄えていた。現在もなお問屋街として当時の面影を残す一方、主要な観光地の一つとして常に多くの人で賑わう。
文：伊藤 瞳